

かつらぎ町学生支援緊急給付金給付事業

【事業目的・概要】

新型コロナウイルス感染症感染拡大により経済的に困窮する大学生等の学びを継続するため、大学生等に対して学生支援緊急給付金を給付する。

総事業費	事業費内訳	
28,138,885円	学生支援緊急給付金 (139人×200千円)	27,800,000円
	超過勤務手当	298,255円
	消耗品費(衛生用品、インクカートリッジ等)	17,430円
	郵送料	23,200円

かつらぎ町学生支援緊急給付金給付事業 アンケート

調査の概要

(1) 調査の方法と調査対象者

調査対象者	令和３年度で学生支援緊急給付金の給付を受けた者
調査期間	令和4年２月10日～2月25日
調査方法	郵送配付、郵送回収

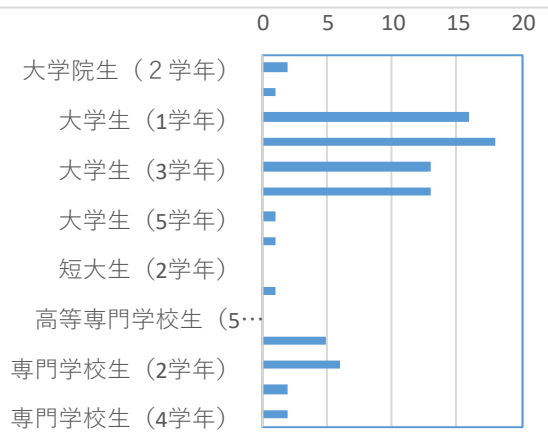
(2) 配布と回収状況

配付数	回答数	回答率
138	80	57.97

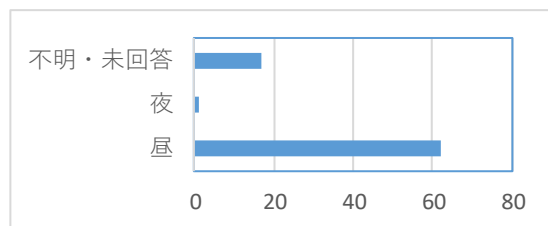
Ⅱ.アンケート結果

【通っている学校の情報】

	人	%
大学院生（2学年）	2	2.5
大学院生（3学年）	1	1.2
大学生（1学年）	16	19.8
大学生（2学年）	18	22.3
大学生（3学年）	13	16.0
大学生（4学年）	13	16.0
大学生（5学年）	1	1.2
短大生（1学年）	1	1.2
短大生（2学年）	0	0.0
高等専門学校生（4学年）	1	1.2
高等専門学校生（5学年）	0	0.0
専門学校生（1学年）	5	6.2
専門学校生（2学年）	6	7.4
専門学校生（3学年）	2	2.5
専門学校生（4学年）	2	2.5
合計	81	100



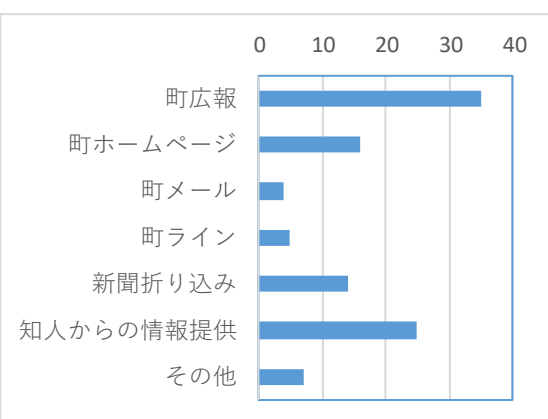
	人	%
昼	62	77.4
夜	1	1.3
不明・未回答	17	21.3
合計	80	100



1-1 学生支援緊急給付金給付事業を何で知りましたか。

「町広報」が33.0%で最も多く、次いで「知人からの情報提供」が23.6%となっています。

	人	%
町広報	35	33.0
町ホームページ	16	15.1
町メール	4	3.8
町ライン	5	4.7
新聞折り込み	14	13.2
知人からの情報提供	25	23.6
その他	7	6.6
合計	106	100



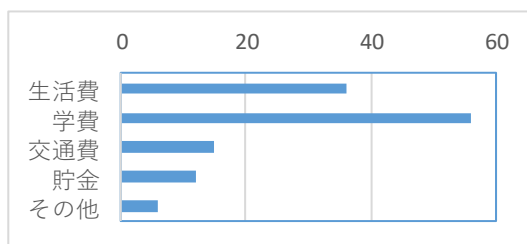
○その他の詳細

・親 ・学校

1-2 受給した学生支援緊急給付金を何に使いますか。（主なもの2つまで）

「学費」が44.8%で最も多く、次いで「生活費」が28.8%となっています。

	人	%
生活費	36	28.8
学費	56	44.8
交通費	15	12.0
貯金	12	9.6
その他	6	4.8
合計	125	100



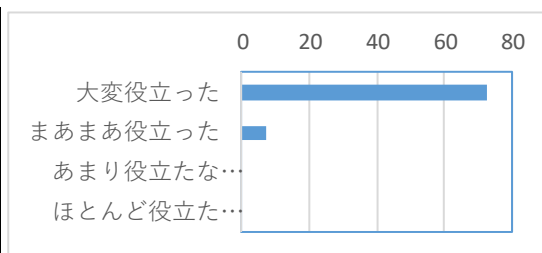
○その他の詳細

- ・教材費
- ・奨学金返済時のために貯金
- ・資格勉強のための教材費、試験受験料
- ・成人式の費用（着物代金等）
- ・研究のための資料、文献、書籍購入費、研究費

1-3 学生支援緊急給付金の受給は役立ちましたか。（ひとつ）

「大変役立った」91.2%、「まあまあ役立った」8.8%を合わせると、100%の人が「役立った」と思っています。

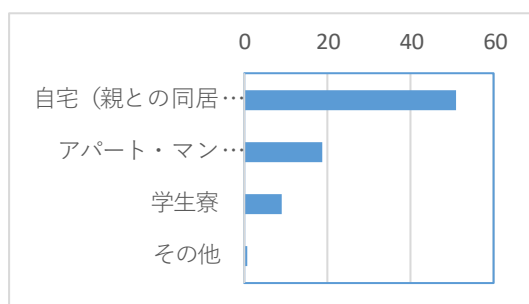
	人	%
大変役立った	73	91.2
まあまあ役立った	7	8.8
あまり役立たなかった	0	0.0
ほとんど役立たなかった	0	0.0
合計	80	100



2-1 現在の住まいについてご回答ください。（ひとつ）

「自宅（親との同居含む）」が63.7%で最も多く、次いで「アパート・マンションに一人暮らし」が23.7%となっています。

	人	%
自宅（親との同居含む）	51	63.7
アパート・マンションに一人暮らし	19	23.7
学生寮	9	11.3
その他	1	1.3
合計	80	100



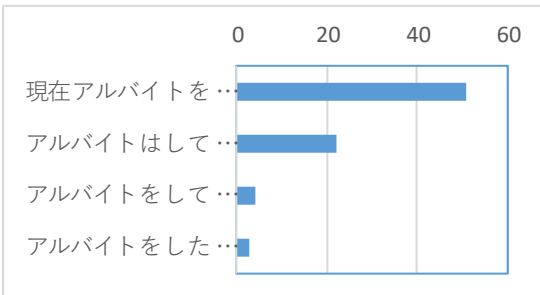
○その他の詳細

・姉妹で二人暮らし

2-2 アルバイトの状況についてお尋ねします。（ひとつ）

「現在アルバイトをしている」が63.7%で最も多く、次いで「アルバイトはしていない」が27.5%となっています。

	人	%
現在アルバイトをしている	51	63.7
アルバイトはしていない	22	27.5
アルバイトをしていたがコロナ問題でなくなった	4	5.0
アルバイトをしたいが見つからない	3	3.8
合計	80	100



2-3 アルバイト収入の使い道について、割合の多い順位をつけてください。

順位	1		2		3		4		5		合計
項目	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人
生活費	24	41%	9	15%	5	8%	7	12%	0	0%	45
学 費	7	12%	5	8%	9	15%	12	20%	3	5%	36
趣味や娯楽	19	32%	15	25%	10	17%	1	2%	1	2%	46
貯 金	6	10%	11	19%	11	19%	13	22%	0	0%	41
その他	3	5%	2	3%	3	5%	0	0%	4	7%	12
合 計	59	100%	42	71%	38	64%	33	56%	8	14%	

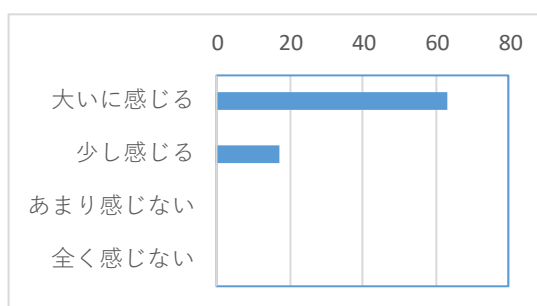
○その他の詳細

・携帯代 ・定期代 ・教科書、参考書など ・交通費
・研究資金（大学に支払う学費とは別）

3-1 現在の生活でコロナウイルスの影響をどの程度感じますか。（ひとつ）

「大いに感じる」78.7%、「少し感じる」21.3%を合わせると、100%の人が「コロナウイルスの影響を受けている」と思っています。

	人	%
大いに感じる	63	78.7
少し感じる	17	21.3
あまり感じない	0	0.0
全く感じない	0	0.0
合計	80	100

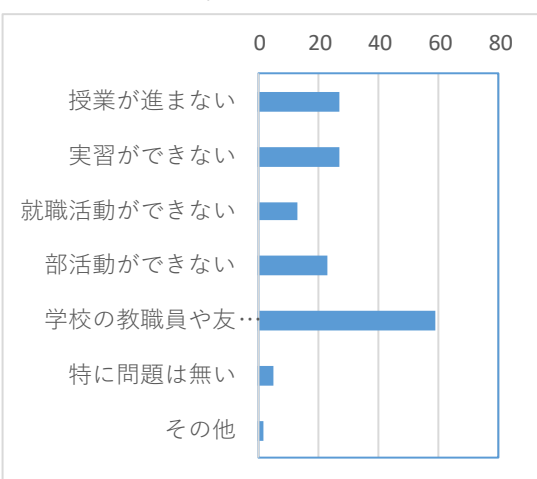


3-2 コロナウイルスの感染拡大に伴う自粛で、学業等にどの程度影響しているでしょうか。

（いくつでも）

「学校の教職員や友人とのコミュニケーションが取れない」が37.9%で最も多く、次いで「授業が進まない」と「実習ができない」がそれぞれ17.3%となっています。

	人	%
授業が進まない	27	17.3
実習ができない	27	17.3
就職活動ができない	13	8.3
部活動ができない	23	14.7
学校の教職員や友人とのコミュニケーションが取れない	59	37.9
特に問題は無い	5	3.2
その他	2	1.3
合計	156	100

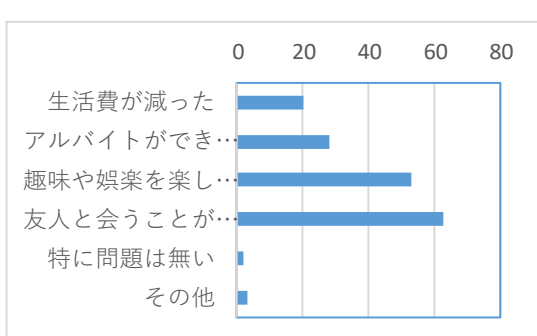


3-3 コロナウイルスの感染拡大に伴う自粛で、生活にどのような影響があったでしょうか。

（いくつでも）

「友人と会うことができない」が37.2%で最も多く、次いで「趣味や娯楽を楽しめない」が31.4%となっています。

	人	%
生活費が減った	20	11.8
アルバイトができない	28	16.6
趣味や娯楽を楽しめない	53	31.4
友人と会うことができない	63	37.2
特に問題は無い	2	1.2
その他	3	1.8
合計	169	100



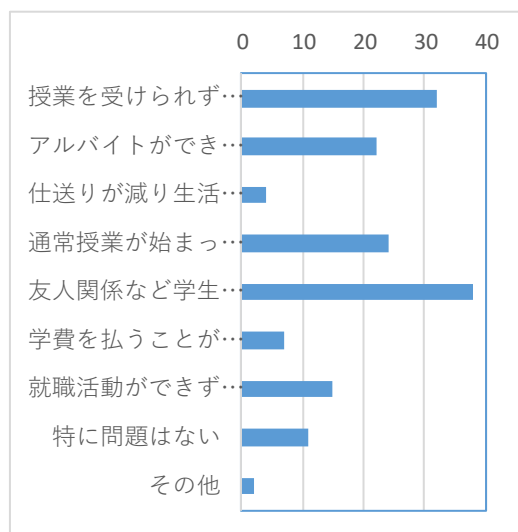
○その他の詳細

- ・大学に行く機会が減った
- ・アルバイトが減った
- ・運動量が減ったため、体調管理により気をつけるようになった

3-4 困難や不安に感じていることをご回答ください。（3つまで）

「友人関係など学生生活が不安」が24.5%で最も多く、次いで「授業を受けられず知識や技能が身につかない」が20.6%となっています。

	人	%
授業を受けられず知識や技能が身につかない	32	20.6
アルバイトができず生活費が不足	22	14.2
仕送りが減り生活費が不足	4	2.6
通常授業が始まってもついていけないか不安	24	15.5
友人関係など学生生活が不安	38	24.5
学費を払うことができない	7	4.5
就職活動ができず心配	15	9.7
特に問題はない	11	7.1
その他	2	1.3
合計	155	100



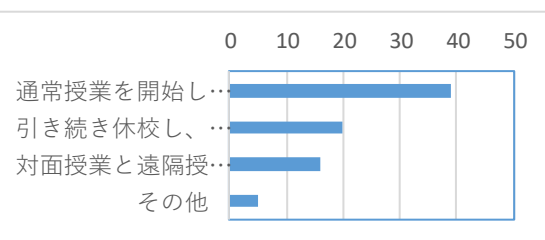
○その他の詳細

- ・実家にたびたび帰れない
- ・気軽に外出できず、大学での施設利用にも制限がかかっているため、授業、勉強や研究は自宅ですることが多いが、できれば大学に行きたい

4-1 令和3年度10月1日時点での状況をお聞かせください。（ひとつ）

「通常授業を開始している」が48.7%で最も多く、次いで「引き続き休校し、遠隔授業などで対応」が25.0%となっています。

	人	%
通常授業を開始している	39	48.7
引き続き休校し、遠隔授業などで対応	20	25.0
対面授業と遠隔授業を併用している。	16	20.0
その他	5	6.3
合計	80	100



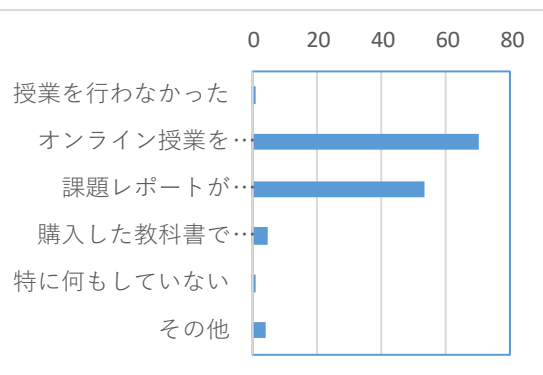
○その他の詳細

- ・授業が再開していたが、1月半ばから遠隔授業に変更された
- ・30分短縮授業
- ・分散登校と遠隔授業（オンライン）などで対応して頂いています
- ・臨地、学内、遠隔を状況に合わせて調整しながら実習を行っている
- ・研究室活動のみ

4-2 休校期間中の状況についてご回答ください。（いくつでも）

「オンライン授業を受けていた」が52.3%で最も多く、次いで「課題レポートがあった」が39.6%となっています。

	人	%
授業を行わなかった	1	0.7
オンライン授業を受けていた	70	52.3
課題レポートがあった	53	39.6
購入した教科書で自主的に勉強していた	5	3.7
特に何もしていない	1	0.7
その他	4	3.0
合計	134	100



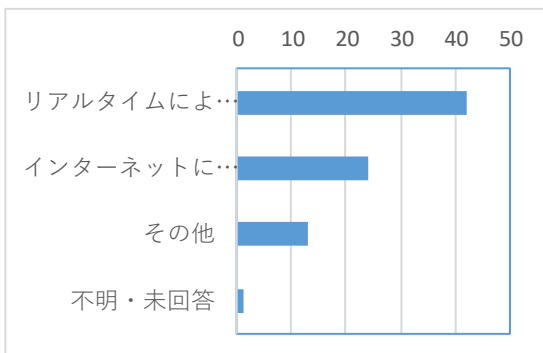
○その他の詳細

- ・休校していない
- ・ほとんど休校期間がなかった
- ・令和2年度に1月ほどオンライン授業だった期間はあるものの今年度は全て対面授業でした
- ・授業がオンラインでテストは対面だった

4-3 オンラインによる受講形態について（ひとつ）

「リアルタイムによるオンライン授業を受けている」が52.4%で最も多く、次いで「インターネットにアクセスして授業を受けている」が30.0%となっています。

	人	%
リアルタイムによるオンライン授業を受けている（決まった時間に受講）	42	52.4
インターネットにアクセスして授業を受けている（受講時間は任意）	24	30.0
その他	13	16.3
不明・未回答	1	1.3
合計	80	100



○その他の詳細

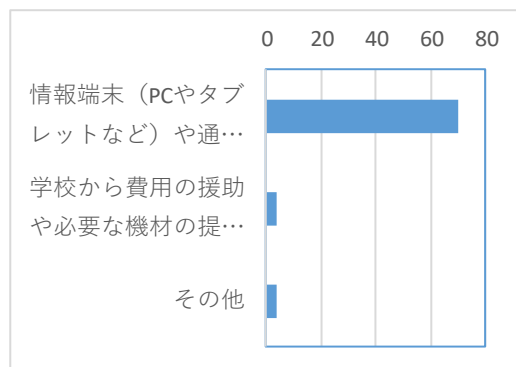
- ・リアルタイムとオンデマンドの併用
 - ・オンライン授業は行っていない
 - ・授業時間内にweb上で課題に取り組む
- （教員が話すことはなく、その場で課題をすることで出席扱いとする場合もある）

4-4 オンラインで授業を受けている場合、以下の項目についてもお答えください。

(いくつでも)

「情報端末（PCやタブレットなど）や通信環境(Wifi)を自費で整えた」が89.8%で最も多くなっています。

	人	%
情報端末（PCやタブレットなど）や通信環境（Wifi）を自費で整えた	70	89.8
学校から費用の援助や必要な機材の提供などの支援があった	4	5.1
その他	4	5.1
合計	78	100



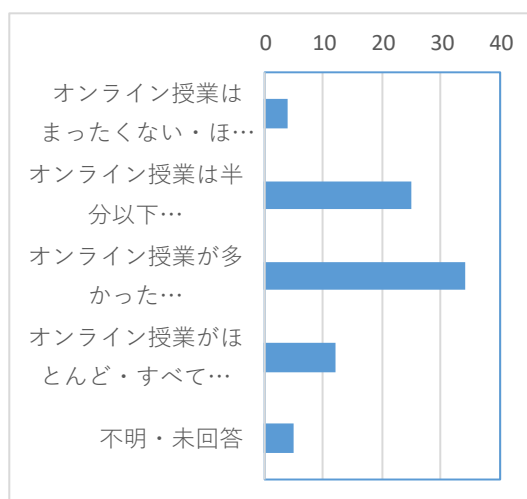
○その他の詳細

- ・元々持っていた端末を使用した ・携帯電話
- ・PCは入学時に支給されているもので通信環境は自費
- ・大学の図書館や大学が一時的に開放している教室で受講するこもあった。どの場所も人数制限が設けられていた。

4-5 令和3年度の後期に履修した授業科目のうちオンライン授業の割合はどのくらいであったか。

「オンライン授業が多かった(50～80%未満)」が42.4%で最も多く、次いで「オンライン授業は半分以下(10～50%未満)」が31.3%となっています。

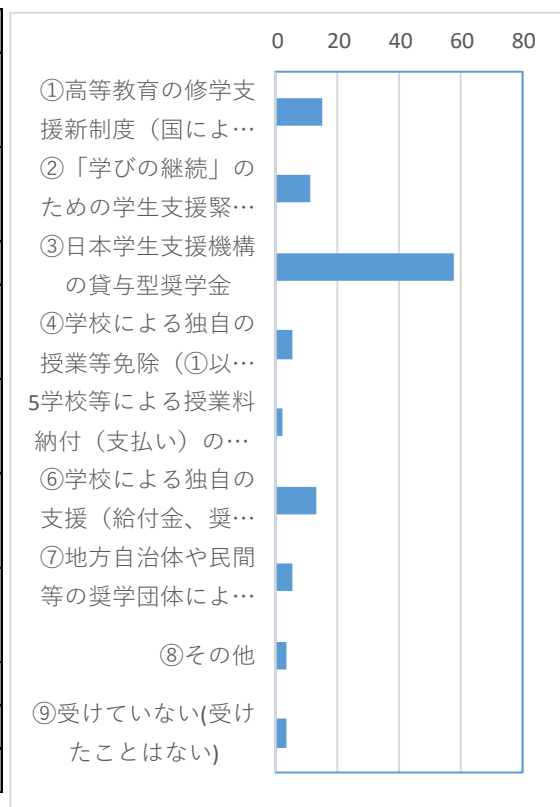
	人	%
オンライン授業はまったくない・ほとんどない（0～10%）	4	5.0
オンライン授業は半分以下（10～50%未満）	25	31.3
オンライン授業が多かった（50～80%未満）	34	42.4
オンライン授業がほとんど・すべてだった（80～100%）	12	15.0
不明・未回答	5	6.3
合計	80	100



5-1 あなたが受けている又は過去1年間に受けたことのある、自治体や学校などによる支援をすべて、以下から回答してください。（いくつでも）

「日本学生支援機構の貸与型奨学金」が50.5%で最も多く、次いで「高等教育の修学支援新制度」が13.0%となっています。

	人	%
①高等教育の修学支援新制度（国による給付型奨学金、授業料等免除）	15	13.0
②「学びの継続」のための学生支援緊急給付金	11	9.6
③日本学生支援機構の貸与型奨学金	58	50.5
④学校による独自の授業料等免除（①以外の授業料等免除を指します。）	5	4.3
⑤学校等による授業料納付（支払い）の猶予	2	1.7
⑥学校による独自の支援（給付金、奨学金、その他物品の支給・貸与など）	13	11.4
⑦地方自治体や民間等の奨学団体による奨学金	5	4.3
⑧その他	3	2.6
⑨受けていない(受けたことはない)	3	2.6
合計	115	100



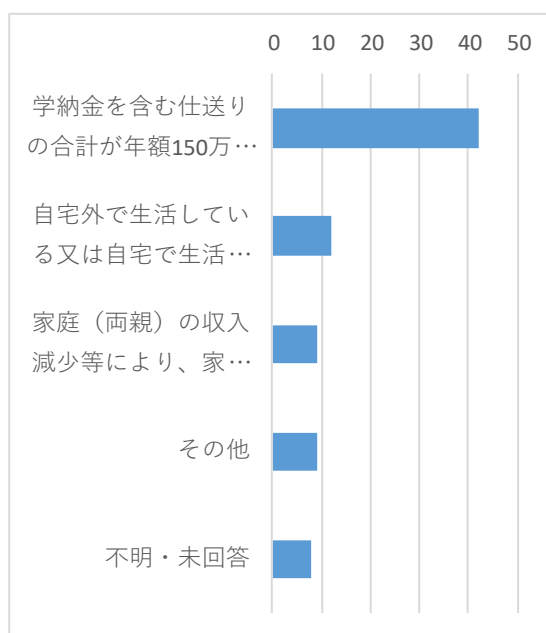
○その他の詳細

- ・病院の奨学金
- ・和歌山県の奨学金

5-2 家庭からの支援についてお尋ねします（ひとつ）

「学納金を含む仕送りの合計が年額150万円以下である」が52.4%で最も多くなっています。

	人	%
学納金を含む仕送りの合計が年額150万円以下である	42	52.4
自宅外で生活している又は自宅で生活しているが家庭から支援を受けていない(学費の多くを支払っているなど)	12	15.0
家庭（両親）の収入減少等により、家庭からの支援が期待できない (新型コロナウイルス感染症の影響による収入の減少があり、国や地方公共団体から公的支援を受けている場合)	9	11.3
その他	9	11.3
不明・未回答	8	10.0
合計	80	100



○その他の詳細

- ・家庭から支援を受けている
- ・当てはまるものがない
- ・自宅から通学しているため仕送りはないが、家庭から支援を受けている
- ・自宅で生活しており学費を出してもらっている状態
- ・将来のために兄弟も私立の高等学校に通っているため、学費の支払いで両親に負担をかけてしまっている

5-1で⑨受けていない（受けたことはない）を選んだ方にお伺いします。

	人	%
必要ないため	0	0.0
必要だったが、自分が活用できる支援策がよくわからなかったため	1	33.3
必要だったが、実際に相談・申請するに至らなかった	1	33.3
必要だったが、相談・申請したところ、対象外であったため	0	0.0
その他	0	0.0
不明・未回答	1	33.3
合計	3	100

